

NECエレクトロニクスは、本人希望を尊重し NECエレクトロニクスで働く場を確保せよ！

NECグループで働くみなさん

会社集約が12月末に迫ったNECファブサービスの職場では、10月1日にはNECS山形への移籍同意書が配られ、11月1日からは「特別転進支援施策」の募集が始まります。人生を左右する選択を迫られた職場は、大きな不安と怒りが高まっています。

NECS山形でも、人減らしリストラ

NECファブサービスからの移籍者を受け入れるNECS山形でも、昨年1年間で約150名が削減されています。

さらに、12月には200mmラインの閉鎖が予定されており、この200mmラインの従業員を300mmラインなどで受け入れなくてはなりません。現・山形社員の全員と、NECファブサービスからの移籍者全員の両方を、将来にわたって雇用し続けられる見込みは、厳しいのではないのでしょうか。さらなる、人減らしリストラの強まりも懸念されます。

NECS山形の将来性についての質問に対して、NECファブサービスは「NECS山形の事業計画について、コメントする立場にはありません」と回答しています。これでは、移籍対象になっている人たちは、将来への展望が持てずに、不安が大きくなるのは当然ではないのでしょうか。

NECは、分社化・移籍施策を止めよ！

NECのプラズマディスプレイ部門は、縮小経営のあおりを受けて、2002年にNECから分社化され、そして、2004年にはパイオニアに売却されました。売却された当初は平穏？でしたが、すぐに人減らしリストラが次々と行われています。そして、現在、パイオニアのパネル生産中止にともない、工場閉鎖、希望退職の大リストラに見舞われています。旧NEC鹿児島は、生産委託のベンチャー企業への売却も噂されています。

元NEC社員のAさんは「あの時、パイオニアに移籍したばかりに...」と、苦しい胸中を話してくれました。NECプラズマディスプレイやNECファブサービスで見られるように、NECは、分社化 移籍する人減らしリストラをたびたび行ってきました。NECは、働く者に犠牲を押しつける分社化・移籍路線を止めるべきです。

NECファブサービスは、雇用責任を果たせ！

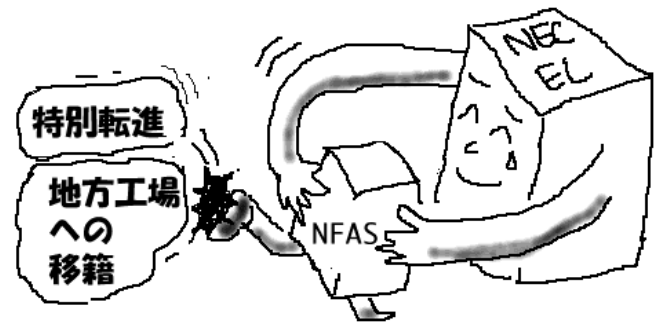
NECS山形の現状や見えない将来性から、「移籍でなく、せめて出向扱いにしてほしい」「NECエレクトロニクスに復帰したい」の声も高まっています。

今年の1月、なぜ出向ではなく転籍なのか？の問いに対し、会社は「出向の場合には、いずれNECELに戻ってくる事が前提となってしまう。しかし、今回は戻る職場が無いから転籍とした」と説明しました。

しかし、行き先であるNECS山形にも雇用の場が無いとすれば、あまりにも無責任な話であり、少なくとも向こう数年間は出向扱いとし雇用保障をはかるべきでしょう。

また、NECS山形への移籍を希望しない人については、移籍を強要しないで、NECエレクトロニクス内の職場を確保し、雇用責任を果たすべきです。

NFAS解散
本人の希望を尊重し
NECエレクトロニクスに
職場の確保を



東芝は、雇用を確保

2002年、東芝では分社化にともなう転籍問題が発生しました。そのとき、東芝労組は、職場の要求にこたえて転籍協定の締結を会社に要求し、これを実現しました。

当時の転籍協定書には、向こう6年間の雇用保障と賃金・一時金の保障が明記されています。

仮に、転籍先で雇用の継続が困難となれば、東芝グループ内に就業場所を確保する事も約束させました。

NEC & 関連労働者ネットワーク 2008年10月

ELICNEC

(連絡先) 田町: 山崎 栄一 (042-729-8084)
玉川: 森 英一 (090-4834-6876)
府中: 益田 武廣 (042-364-6885)

ELICNEC URL : <http://www.elicnec.com/>

NECファブサーブは、 移籍や退職の強要は、止めましょう！

NECファブサーブでは、11月1日から11月14日まで、「特別転進支援施策」の募集が行われます。これまで、NECグループでは、「特別転進支援施策」の名で多くの方が退職しています。また、労使で確約しているにもかかわらず、退職強要が繰り返し行われてきました。今度こそは、職場の世論と監視を強め、犯罪行為である退職強要を止めさせましょう。

辞めないで、NECエレクトロニクスで働き続けよう！

NECファブサーブが、「特別転進支援施策」で多数の退職者を計算しているのは明らかです。しかし、仮に対象者になっても、何も選択する必要はありません。会社が労働者を移籍させるには、本人の同意が必要であり（民法625条）、労働条件の不利益変更も、本人の同意が必要（労働基準法第2条）となります。

ですから、「移籍を拒否し、退職もしなかった場合の所属はどこになるのか？」との問いに対して、会社は「NECグループ内外で就業の場を確保することになります。」と回答しています。

移籍も退職も希望しない場合は、きっぱり「ノー」と答えていきましょう。

また、「特別転進支援施策」を打診される中で、退職勧奨と感じたら、すぐに労働組合に報告し、ただちに止めさせましょう。

失業率、雇用状況は、悪化の一途

先月、総務省は、失業率を発表しました。完全失業率は、4.2%となり、2006年6月以来の高水準です。また、厚生労働省が発表した8月の有効求人倍率は、悪化を続けて、0.86倍（季節調整値）になりました。これを受け、厚生労働省は雇用情勢判断を4カ月ぶりに変更し、「注意を要する」から「有効求人倍率が低下するなど、下降局面にある」に下方修正しました。

再就職は、とても厳しい状況です。「特別転進支援制度」を考える前に、職場の同僚や家族との話し合いを深めましょう。

退職や移籍の強要、仕事差別など
**困った時は 電機ユニオンや
NEC&関連労働者NWに相談を**



NECエレクトロニクスは、社内で働く場を確保せよ！

4年前のNECエレクトロニクスからの分社化、そして今回の集約についてもNEC経営陣の責任であり、働く者には、全く責任はありません。

「NECで働き続けたい」「山形への移籍はできない」は、多くの方の思いや事情です。その思いや悩みを職場や家庭で大いに出し合い、「NECエレクトロニクスは、本人の希望を尊重し、NECエレクトロニクスで働く場所を確保せよ！雇用責任をきちんと果せ！」の職場要求を実現させていきましょう。

NECグループのみなさん、管理職のみなさん、協力会社のみなさん

NECグループでの職場の問題、声、労働者の
たたかいを知りたい方は、
下の ELICNEC ホームページにいますぐアクセス！
<http://www.elicnec.com/>

アクセス
24万件

一人で悩まず、
まずは相談を！
電機ユニオンに入り、
解決した事例が沢山
生まれています。

雇用問題・リストラなどで困ったときは
一人でも入れる 電機ユニオン へお気軽にご相談を

Tel 03-3455-6006 Fax 03-3451-3595 メール info@denki-union.org

転職・退職の強要を受けたら、すぐに電機労働者懇談会へ、相談を

Tel 03-3455-6006 Fax 03-3451-3595 メール denkikon@nifty.com